



仙南の魅力いっぱい！ みやぎ蔵王三十六景クイズ 解答と解説



きみは、
何問解けたかな？

NO.1 正解2 「温麵」

温麵は、胃の弱い父親のため、胃に優しい麵を探し求めた息子が、旅の僧から油を一切使わない作り方を教わったという麵。この親孝行の息子の話が時のお殿様に伝わり、人の温かい思いやりから「温麵」と名づけられたそうです。



NO.2 正解4 「白石城」

白石城は、取り壊されて以来平成7年(1995年)に120年ぶりに復元されました。天守の最上階から白石市の町並みを眺めると、お殿様になった気分になります。

NO.3 正解2 「鎌先温泉」

600年以上も昔、里人が鎌の先で見つけたと伝わる湯。「キズに鎌先」と言われ、傷に対する効果があることから、奥羽の薬湯として有名です。



NO.4 正解1 「菊面石」

菊の花びらを並べたように見えることから「菊面石」と呼ばれており、大変美しい石です。白石市の「いきいきプラザ」の玄関ロビーで見ることができます。



NO.5 正解2 「ウメ」

角田市は梅の栽培が盛んで、梅干などの梅を使った加工品が有名です。6月に開催される「うめ～梅まつり」では、種飛ばし大会や長い列ができるほど人気の梅もちの振る舞いが楽しめます。

NO.6 正解2 「四方山」

高さ8mの展望台に登ると、360度はるか遠くまで見渡せます。東には太平洋の大海原が、晴天時には遠く牡鹿半島や金華山が見え、西には蔵王連峰の雄々しき姿を満喫することができます。

NO.7 正解3 「金津七夕」

金津地区の七夕は、子供を主体とした珍しい行事です。また、「星祭り」的な行事ではなく、邪霊を鎮送する送り行事であり、県下では他に例のない貴重な民俗行事です。県の無形民俗文化財(風俗慣習)に指定されています。

NO.8 正解1 「高蔵寺阿弥陀堂」

高蔵寺阿弥陀堂は、宮城県で最も古い木造建築で、ご本尊の阿弥陀如来坐像とともに、国の重要文化財に指定されています。高蔵寺のある西根地区のボランティアが、温かいおもてなしでお客様をお迎えしています。

NO.9 正解1 「ナシ」

仙南地域は、県内でも有数の果樹産地。中でも蔵王町のナシは県内一の生産量を誇ります。蔵王連峰の豊かな自然の中で、「幸水」、「豊水」、「新高」といった様々な品種が栽培され、観光果樹園では、もぎたてのみずみずしい味が楽しめます。

NO.10 正解4 「ウナギとカニ」

昔の言い伝え。不動滝には、大ウナギが住み、隣の滝に住むカニが不動滝を狙って襲って来ました。ウナギはカニのはさみでチョコキンと三つに切られ、頭は青根温泉に、胴は義々温泉、尻尾は遠刈田温泉に流され、そのときから、青根は頭痛に、義々は胃腸に、遠刈田は足腰に効くといわれるようになりました。

NO.11 正解3 「七日原高原」

牧歌的な雰囲気^{なのかはら}に心癒される七日原高原では、直売所での乳製品の買い物のほか、牛の乳しぼりやバター作り、ソーセージ作りといった体験が楽しめます。また、動物とのふれあいを求めて、多くの方が訪れています。

NO.12 正解4 「みやぎ蔵王えぼしスキー場」

冬のレジャーの代表と言えば、スキー。仙南地域には5つのスキー場があり、中でもみやぎ蔵王えぼしスキー場は、11のコースを持ち、県内一の規模です。初心者から上級者まで、みんなが白銀の世界を楽しむことができます。

NO.13 正解2 「ゆり太郎」

七ヶ宿町の観光ガイドの名前は「ゆり太郎」。七ヶ宿町を訪れる皆様を、股旅姿^{またたびすがた}でお迎えています。ちなみに、イラストのゆり太郎が手に持っている花は、町花となっている「乙女ゆり」です。



NO.14 正解2 「不忘山」

やまびこ吊り橋から見える不忘山は、杉ヶ峰、屏風岳とともに南蔵王と呼ばれる、標高1,705mの山。すそ野を長く引いたなだらかな山の姿は、蔵王連峰随一の美しさです。

NO.15 正解4 「17市町」

平成3年に完成した七ヶ宿ダムは、東北でも第3位の大きさを誇り、仙台市を含む17市町、約183万人の水瓶として利用されています。観光スポットとしても楽しみ、シンボルの湖水の噴水は高さが80mまで上がり、こちらも日本で第2位の高さです。

NO.16 正解2 「10個分」

東京ドーム約10個分の広々とした、七ヶ宿町の「柏木山放牧場」は、春から秋にかけて、草を食べる牛の姿がみられ、のんびりとした気持ちになれるスポットです。

NO.17 正解3 「ウメ」

「さくらっきー」の体は、大河原町の町木「ウメ」できています。「桜」と「ラッキー」を組み合わせ、一目千本桜を見にきた方が幸せになるようにと願いを込めて名前がつけられました。

NO.18 正解2 「おばんなり」

「こんばんは」を方言で「おばんなり」と言います。選択肢の1「ようござり」は「よくいらっしやいました」、3「まつっばい」は「まぶしい」、4「おどげでね」は「たいへんなこと」です。

NO.19 正解3 「約1,200本」

この桜並木は、大河原町出身の高山開次郎氏が、1,200本の桜の苗木を寄贈したのが始まりです。地元^{たかやまかいじろう}の高校生や団体が、病気の予防や補植など桜の木を保護し、大切に育てています。

NO.20 正解3 「ウメ」

地元の大河原商業高校の生徒が、ウメを使った^{あめ}飴やゼリーやラムネを商品化しています。

NO.21 正解4 「モミ」

山本周五郎の小説「^{もみ}樅ノ木は残った」は、昭和45年(1970年)にNHK大河ドラマでも放送されました。公園内には、小説の一節を刻んだ文学碑もあります。

NO.22 正解2 「ユズ」

柴田町雨乞地区のユズは、皮が厚く、香りが豊かで、実が大きいのが特徴です。ゆず湯やゆず砂糖などに使われ、寒さで冷える体をホッと温めてくれます。



NO.23 正解2 「キク」

柴田町はキクの生産が盛んな町です。毎年10月には、船岡城址公園を会場に、県内最大の菊花展が開催され、丹精を込めて栽培した色とりどりの菊花が展示されます。



NO.24 正解4 「^{すや}素焼きの皿」

クレーとは、粘土を焼いた円盤の皿。飛ばしたクレーを的として銃で打ち抜くクレー射撃^{しゃげき}は、オリンピックの競技にもなっています。

NO.25 正解1 「^{ほてい}布袋まつり」


布袋様の巨大な人形が山車に乗り、笛や太鼓に合わせて舞い踊る、村田町の代表的な郷土芸能となっています。この祭りは、布袋和尚の徳を慕って、京の山車まつりを参考にして生まれたものと言われています。



NO.26 正解1 「^{しろとり}白鳥神社」

問題文に出てきたフジの木は、大杉に巻きつく姿が大きな蛇のように見えることから「奥州の蛇藤」と呼ばれています。境内の巨木からは、白鳥神社の歴史を感じ取ることができます。古い文献によると、「しろとりじんじゃ」とも読むそうです。



NO.27 正解1 「」

村田町は、宮城県を代表するソラマメの産地。「そら豆まつり」を開催したり、ソラマメを使った加工品づくりに力を入れています。ソラマメのさやを開くと、絵本に出てくるように、ふかふかのベッドの中にマメがきれいに並んでいます。

NO.28 正解3 「^{はせくらつねなが}支倉常長」

伊達政宗の命令で太平洋と大西洋を渡りスペイン、ローマへ向かった支倉常長。川崎町の円福寺には、その支倉常長の墓があります。6月上旬に開催される「支倉常長まつり」は、町の偉大な先人である支倉常長の偉業^{いぎょう}を称え、後世に伝えるために始まった祭りです。

NO.29 正解3 「青根温泉」

青根温泉は、500年近い歴史があり、仙台藩主の御殿湯として栄えてきました。7つの源泉から湧き出る豊富な湯は、訪れる人の心まで温めてくれます。

NO.30 正解1 「^{もり}国営みちのく^{こはん}杜の湖畔公園」

公園は、様々なイベントが開催されるほか、遊具も揃っていて、子供もおとなも一日楽しめるスポット。平成23年7月には、農作業などが体験できる「自然共生園」が開園し、楽しさの幅が広がっています。

NO.31 正解1 「バス」

道路を走ったのち、湖を水しぶきを上げながら進んでいくのは、バス!? 平成23年7月、東北で初めての水陸両用バスが釜房ダムに登場しました。水上を進むバスに是非乗ってみてはいかがでしょうか。



NO.32 正解1 「蔵の郷土館齋理屋敷」

阿武隈川の舟運で栄えた豪商の屋敷と収蔵品の寄贈を受け、「蔵の郷土館」として開放しました。雛まつり、端午の節句、齋理の歳迎えといったイベントが行われ、展示される豪華な品々に目を奪われます。

NO.33 正解1 「内川」

不動尊キャンプ場を流れる内川は、川底が透き通って見えるくらい、きれいな水が自慢の川です。緑に囲まれたキャンプ場には、広々とテントを張れるスペースのほか、快適なコテージもあり、気軽にキャンプ気分が味わえます。

NO.34 正解3 「ヒマワリ」

夏のイメージがあるヒマワリですが、丸森町の風物詩になっているヒマワリは、秋に咲きます。背丈が90cm程度と、子供でも鑑賞しやすく、ヒマワリ畑が一望できる展望台もあります。



NO.35 正解3 「阿武隈川」

東北では、北上川に次ぐ長さの阿武隈川。舟運のなごりを今に残す舟下りでは、新緑や紅葉、雪景色など四季折々の景色をのんびりと楽しむことができます。

NO.36 正解1 「屏風岳」

屏風岳は標高1,825mで、宮城県で最も高い山です。山の名前は、屏風を立てたように切り立っているところからつけられたようです。高山植物も見られ、登山も楽しめる山です。なお、熊野岳は1,841mですが、山形県の山とされています。

仙南地域には、クイズに登場しなかったけれど、キラキラ輝く魅力的な観光資源がまだまだたくさんあります。これからも学校や図書館で調べたり、お父さんやお母さんに聞いたり、イベントに出かけてみたりして、自分の地域を誇りに思い、ますます好きになってくれることを期待します。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部

電話：0224-53-3182

FAX：0224-53-3076

E-mail：oksinbk2@pref.miyagi.jp